



西宮市立こども未来センターでの学外実習



西宮市立こども未来センターは、**福祉・教育・医療**が連携し、「**こども自身の自分らしい豊かな人生の実現**」のために、こどもの主体性を尊重した支援を行うことを目的としています。支援は、センター内に限らず、こどもたちやその家族が**地域の中で安心して暮らしているように切れ目のない支援**が行われています。例として、みやっこファイルや、アウトリーチ活動があります。



実習指導者の先生のお話

大山先生と井上先生のお話からは、問題が見えにくいこどもへの支援として、こどもと関わりながら支援のためのヒントを集めていくという日々のアセスメント(**関与観察**)が、こどもへのアプローチにつながるということを教えてくださいました。また、こどものための多様な専門家が集まったなかで、専門性を発揮するためにも、**まずは自分の役割を考**えることから始めると、**多職種連携**において大切なことを教えていただきました。



施設について



福祉・医療・教育の充実した施設があるだけでなく、**個々の発達や活動に応じた**道具や、手作りの椅子等があり、より豊かにこどもたちの発達を促すための工夫がありました。そのように充実した施設であるからこそ、**より多くのこどもたちに支援を提供**できるよう、支援期間が設定されています。西宮市立こども未来センターだけの充実にとどまらず、**地域で豊かに生活できるよう、地域につなげることを目的**とされていることが伝わってきました。



編集後記

大変お忙しい中、ご講義いただきました大山先生、井上先生、大黒先生、中川先生、藤長先生、西宮こども未来センターの皆さまに心より感謝申し上げます。

作成：谷川 写真撮影：野村